

市民文芸

短歌

阿南市文化祭短歌大会選

入選 川口 節子

ガラス戸を開けば微かに聞こえる遠き列車の橋渡る音

入選 湯浅チヅ子

五月雨が恩師の遺影濡らす時送る涙はただとどめなく

入選 井坂 絹子

道すがら風草むしる少女らのランドセル越し夏は薫りぬ

佳作 高尾 久枝

草かげに涼を求めて蹲る猛暑の中の稲刈り作業

佳作 中山 芳子

電線に一直線に並びおりひよ鳥唄う伝言ゲーム

佳作 山本 賀代

コオロギの鳴く声聴こゆ散歩道夫とふたりで秋風纏い

佳作 勢井 恒子

生きるとは死への旅かも吾が歩みすがし足跡入り日に希う

佳作 湯浅佐智子

移り来てこの家に住みて五十年夏うぐいすの初啼きを聴く

佳作 林 ヤス子

短かかる命ひびかす蝉しぐれ聞く合唱の終戦記念日

俳句

阿南市俳句連合会選

抱きし児に七草粥の湯気授く

久米 千草

玉垣の某は父淑氣満つ

平野 貞子

八十路きて馴染し山河初明り

高尾 房枝

引き摺られカタカタ鳴るや赤い凧

表原 清美

初御空矮鶏の声する峰社

佐々木八千代

瑞雲のたなびく峰や初明り

五光 春海

温泉で冬菜を湯掻く山の宿

近藤ヤス子

暮れ間近農道急ぐ冬菜採り

岡本 隆子

好天の続く仕合わせ去年今年

森 泰子

追い越さるもみじマークや去年今年

岡久 玲子

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

耐えてきた事は言わない八十路坂

野村 敏子

発芽する内緒話が二つとも

橋本 征介

夢語る古希の若さと手を繋ぐ

持木 寿栄

手作りと言った魔法にひっかかる

野口 吾朗

裏表あるからこの世おもしろい

西田 修身

一般応募

生かされて仏に伏して数珠を繰る
終着駅認々介護見え隠れ

鳥尾美津子

春の魔女得意分野は愛と夢

渡邊みづえ

春はそこ芽吹く命が土を割る

仁井 信子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

明谷梅林を訪う

風吹春服迎騒客

折野 博子

徑遡山溪導小丘

風は春服を吹いて騒客を迎え
徑は山溪を遡つて小丘に導く

玉骨瓊姿千樹雪

玉骨 瓊姿 千樹の雪

幽香漲處放吟眸

幽香 漲る 吟眸を放つ

早春觀梅

荒徑衝寒訪野梅

荒徑 寒を衝いて 野梅を訪う

一年待得百花魁

一年 待ち得たり 百花の魁

冰心高士無雙品

冰心の高士 無雙の品

香動清溪春已回

香動き清溪 春已に回る

懷古昭和史 其の一

盲從國策事強兵

國策に盲從して強兵を事とし

外壓糾彈情勢傾

外圧の糾弾に情勢 傾く

一綫怪光碧天下

一綫の怪光 碧天より下る

玉音痛切使民驚

玉音 痛切にして民をして驚かしむ

※一綫怪光：原爆のこと

市田 嘉則